

団体名:新家壮年団 prime of life in Niie

防災教室

■活動の内容

新家壮年団は、新家で生まれ育った壮年代メンバーを中心に地域の諸問題に取り組み、住民相互の扶助・親睦・福祉・健康等「地域貢献」を目的に活動しています。今回は、自治会と連携した「防災教室」を企画、その様子を視察しました。

- 日時 令和5年9月17日(日)10時半～12時
- 場所 新家集会所(中川区・新家地区)
- 参加人数 14名

新家集会所



新家自治会の皆様へ

消防から学ぼう!

新家『防災教室』を開催します

南海トラフ巨大地震や風水害など大規模な災害が広域的に発生した場合、被害を出来る限り軽減し、災害の拡大を防ぐためには、地域の方々の自主的な防災活動が必要不可欠であり、地域と行政が力を合わせて災害に立ち向かわなければなりません。

このため、「自分の身は自分で守る」、「自分達の町は自分達で守る」という防災の基本理念である自助・共助の精神に基づき、平常時から一人でも多くの市民が、必要な知識や技術を身に付け、町ぐるみの組織的で充実した自主防災組織の活動を展開していくことが必要となります。

具体的な表れとしては、まず学区防災安心まちづくり委員会が活動の企画を行います。そして、その企画に基づき、地域住民が町内会・自治会ごとに結成された自主防災組織の単位で、自主防災訓練などの活動を行います。

今回の「新家『防災教室』」は、その一助として「新家壮年団」が企画したものです。

開催日: 令和5年9月17日(日)10時30分～12時00分

会場: 新家集会所(新家3丁目711番地)

講師: 中川消防署富田出張所 署員

受講料は無料です。但し、会場の都合で入場制限をする場合もあります。

主催: 新家壮年団
prime of life in Niie
後援: 新家自治会

※新家壮年団は「名古屋都市センターのまちづくり活動助成」を受けています。

代表(村上さん)と中川消防署署員の方



■活動の様子

会場は住宅街の中に佇む地域住民の集会所。団体代表村上さんからの挨拶を皮切りに「防災教室」が始まりました。講師は中川区消防署署員の方。最初は名古屋市の救急体制の現状、その後、地震、最近頻発する異常気象（線状降水帯など）の話しへ。「いつもは6分で駆けつける救急車。大災害では6時間どころか1日経っても到達できないことも」「消防署員が救助に行っても、住民の顔は分からない。近所での日頃のコミュニティが命を救う！」など、自助・共助・公助それぞれの役割と「共助」の重要性についての講義に、参加者皆さん、時に頷きながら、熱心に耳を傾けてみえました。平常時から一人一人が必要な知識や危機意識を持ち、地域全体で自主防災組織活動を展開していく必要性を住民に周知する、充実した内容でした。今後、団体の活動が世代を超えた地域住民に浸透していくことを期待しています。